

青森県教育委員会第882回定例会会議録

1 期 日 令和4年7月6日(水)

2 開 会 午後1時30分

3 閉 会 午後1時35分

4 場 所 教育庁教育委員会室

5 議事目録

報告第1号 三本木農業高等学校肉牛舎での農業実習中の事故に係る対応について

議案第1号 青森県いじめ防止対策審議会委員の人事について・・・・・・・・原案決定

6 出席者等

・出席者の氏名

和嶋延寿(教育長)、野澤正樹、杉澤廉晴、平間恵美、戸塚 学、新藤幸子

・欠席者の氏名

なし

・説明のために出席した者の職

小坂教育次長、白戸教育政策課長、高橋学校教育課長、伊藤スポーツ健康課長

・会議録署名委員

野澤委員、平間委員

・書記

西野数馬、小路口晶子

7 議 事

報告第1号 三本木農業高等学校肉牛舎での農業実習中の事故に係る対応について

(伊藤スポーツ健康課長)

昨年12月27日に県立三本木農業高等学校の肉牛舎内で発生した生徒の負傷事故について、この度、事故調査委員会を設置したので、事故の概要及び県教育委員会の対応等について御説明する。

事故の発生日時及び場所であるが、令和3年12月27日(月)午前10時30分頃、三本木農業高等学校の肉牛舎内で発生した。

発生状況であるが、肉牛舎内での農業実習中に、生徒が負傷する事故が発生したものである。

当該生徒の怪我の状況について、当該生徒は事故後直ちに救急搬送され、搬送先の病院で緊急手術を受けたが、現在も深刻な状態となっている。

事故の原因については、現在も捜査が続けられている。

県教育委員会の対応として、実習中の事故を防止できなかった学校の管理上の問題を解明し、再発防止策を策定することを目的に、学識経験者等の外部専門家で構成する事故調査委員会を設置し、詳細調査を実施することとした。

事故調査委員会については、6月28日(火)に1回目の委員会を開催したところであり、当該事故について警察による捜査が現在も続いている状況等を考慮し、再発防止策の取りまとめの時期をあらかじめ設定せず検証等を進めていくこととしている。

(教育長)

今回の事故は、県立学校において教育活動中に発生した重大な事故であり、児童生徒にとって安全であるべき学校において事故の発生を防止できなかったことについて、怪我をされた生徒及び保護者、そして県民の皆様に対して申し訳なく思っている。

今後も、怪我をされた生徒及び保護者に対して、誠意をもって対応して参りたいと考えている。

また、事故については、現在も警察による捜査が続けられているが、警察の捜査についても全面的に協力して参る。

事故調査委員会において取りまとめられる再発防止策を踏まえ、二度とこのようなことが起こらないよう信頼される学校づくりに努めて参る。

(教育長)

何か質問、意見はあるか。なければ報告第1号については、青森県教育委員会として了解した。

議案第1号 青森県いじめ防止対策審議会委員の人事について

(高橋学校教育課長)

青森県いじめ防止対策審議会条例に基づき設置している同審議会の委員について、委嘱するものである。

委嘱する委員は、条例で定める、法律、医療、教育、心理、福祉に関して識見を有する者として、竹中孝氏、斉藤まなぶ氏、内海隆氏、関谷道夫氏、鳴海春輝氏を、このほか、青少年の健全育成に関して識見を有する者として、加川香寿美氏の計6名とするものである。

また、委員の任期は、令和4年7月30日から令和6年7月29日までの2年間である。

(教育長)

何か質問、意見はあるか。なければ議案第1号については原案のとおり決定する。